

教育出版 音楽Ⅲ 改訂版（音Ⅲ304）

年間指導計画・評価規準例

芸術科「音楽Ⅲ」 シラバス	単位数	2 単位	担当者	
	学科・学年・学級		科第 学年 組	
	使用教科書・副教材等		音楽Ⅲ 改訂版	

1 音楽Ⅲの目標

- (1) 音楽Ⅰ及びⅡの学習を基盤として、生徒一人一人の能力・適性、興味・関心等に応じた活動により、個性豊かな音楽の能力を高める。
- (2) 音楽の諸活動を通して、生涯にわたって音楽を愛好していこうとする心情を育てる。
- (3) 我が国や郷土の伝統音楽についての理解を一層深めるとともに我が国や諸外国の様々な音楽文化を尊重する態度を育てる。

2 目標達成のための基本方針

音楽Ⅲでは、音楽Ⅰ及びⅡの学習成果を基盤として更に一人一人の能力・適性、興味・関心等に応じた多様な学習活動を展開し、卒業後も永続的に音楽にかかわっていこうとする意欲を高めるとともに、一人一人の個性に応じた豊かな音楽能力を身につけさせたい。また、芸術科音楽の最終段階であることを踏まえ、生活や社会における音楽の意義や在り方に関心をもつなど、幅広い視野で音楽を捉えることのできる豊かな音楽観を育てたい。

そのため第一には、各題材において一人一人の興味・関心、進路、能力・適性等に配慮し、表現方法や表現形態を選択させるなど、個に応じた学習内容と授業展開を工夫する。第二に、歌唱及び器楽の表現活動においては音楽Ⅰ及びⅡの学習成果を踏まえ、音楽の構造上の特徴を捉えること、作曲者の意図を探ること、楽曲のよさを見出すことなどに着眼させ、その上で明確な表現意図をもって歌い、演奏するよう指導する。第三に、鑑賞活動においては楽曲や演奏について根拠をもって批評したり紹介文を作成するなど、音楽のよさや美しさを言葉や文章などで表したりする活動を一層充実させるよう工夫する。第四に、日本や郷土の伝統音楽に幅広く親しませ、音楽を地域や風土、諸文化とのかかわりから広い視野で捉えられるような題材設定を工夫する。

3 指導計画作成上の配慮事項について

- (1) 音楽を形づくっている要素を知覚・感受し理解することなどを基にして、音楽の構造を把握し、作詞者や作曲者などの創作意図を探って楽曲のよさを理解する。また、それぞれの楽曲の文化的・歴史的背景をふまえて楽曲の解釈を行い、自分が表現したい意図を明確にもって、多様な表現形態にふさわしい表現(歌唱・器楽)の仕方を工夫したり、鑑賞したりする。
- (2) 和楽器やリコーダー、ギター、ハンドベルなどの奏法を身につけ、楽器の音色や奏法の特徴を生かす技能を応用しながら、よりよい表現を追求して演奏する。
- (3) 我が国及び郷土の伝統音楽や世界の各地域の諸民族の音楽の特徴を知り、その価値について考えて、音楽文化を尊重する態度を育てる。
- (4) 創作の参考となる既成の作品や作曲家の手法などを学習し、表現意図を明確にもった自分らしい音楽を創作する。
- (5) 我が国及び諸外国の音楽の特徴、音楽と他の芸術や文化とのかかわり、生活及び社会における音楽や音楽にかかわる人々の役割について理解を進め、音楽の多様性やそれぞれの価値について考え、これからの音楽の在り方について考察していく。

年間指導計画及び評価規準例

[illegible]

年間指導計画及び評価規準例

[illegible]

年間指導計画及び評価規準例

年間指導計画及び評価規準例														学習指導要領																		
学 期	月	題材名・単元名	学習のねらい	学習 の 領 域	教材 ○歌唱教材 ◇諸要素、創作教材 □器楽教材 ◆知識理解教材 ○鑑賞教材 （自作教材を含む）	音楽を形づくっている要素								評価規準例								表現			鑑賞		内容の取り扱い					
						音色	リズ ム	速度	旋律	テク ス チュ ア	強弱	形式	構成	表現／鑑賞		表現		鑑賞		歌唱	器楽	創作					(1)	(2)	(3)	(5)	(6)	(8)
														音楽への関心・意欲・態度		音楽表現の創意工夫		音楽表現の技能														
	11	アンサンブルの楽しみ —表現方法・表現形態を選択して—	音楽Ⅰ、Ⅱにおけるアンサンブル学習の成果を踏まえて、各自の希望により表現方法・表現形態及び楽曲を選択し、よりよい表現を追及しながら、個性的・創造的な音楽表現を工夫する。	歌唱 器楽	【和楽器選択教材】 □斎太郎節 □金毘羅船々 □八木節音頭 □Picking up brides 【リコーダー・ギター選択教材】 □Down by the sally gardens □Dona nobis pacem □『交響曲 第1番』から第4楽章 □羊は安らかに草を食み □La cumparsita □『リュートのための古風な舞曲とアリア』から □即興曲 □El cóndor pasa 【管弦打楽器・鍵盤選択教材】 □新日本紀行 □うさぎ小屋のピアニストたち 【ヴォーカル・アンサンブル選択教材】 ○声のウォーミングアップ～あら野の果てに～ ○いざ起て戦人よ ○心の街に ○So much in love ○Michael,row the boat ashore ◆「楽器から見る西洋音楽」「声から見る西洋音楽」をもとに課題レポート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	楽曲の表現内容や様々な表現形態による歌唱（器楽）の特徴に関心をもち、表現意図をもって創造的に歌う（演奏することや表現上の効果を生かして歌う（演奏する）ことに主体的に取り組もうとしている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感じながら、楽曲の表現内容や様々な表現形態による歌唱（器楽）の特徴を理解して、表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な歌唱（器楽）の技能を身に付け、表現意図をもって創造的に表している。	楽曲の表現内容や様々な表現形態による歌唱（器楽）の特徴を理解し、表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な歌唱（器楽）の技能を身に付け、表現意図をもって創造的に表している。		○	○	○	○									○	
	12	日本の音風景 —冬—	冬にかかわりの深い日本の音楽を鑑賞し、我が国の伝統音楽の特徴が、自然や風土の中ではなくまれてきた美意識に根ざしていることを理解する。	鑑賞	◎雅楽『御神楽』 ◎地歌『雪』 ◎雪音く黒御簾の音楽) ○たき火 ◆日本の伝統音楽の楽器編成 ◆鑑賞ノート（自作教材）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	冬にかかわりの深い日本の音楽の構造上の特徴と美しさとのかわりや、音楽と自然や風土とのかわりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。		冬にかかわりの深い日本の音楽の楽器の音色やリズム、テクスチュアなどを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感じながら、日本の音楽の構造上の特徴と美しさとのかわりや自然や風土とのかわりを理解し、楽曲や演奏を解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを味わって聴いている。					○				○			○		○	○
	1	音楽の魅力を言葉で伝えよう —紹介文・批評文—	各自が好きな音楽の魅力を伝えるために楽曲の背景や音楽的な特徴を紹介文にまとめてミニコンサートを開く。また批評文を書き意見交換することにより、音楽に対する考え方や捉え方を広げる。	鑑賞	【選択教材】 ◆教科書134～142ページの鑑賞教材（「現代の音楽」を除く） ◎「声」「鍵盤」「弦楽器」「管楽器」「オーケストラ」「吹奏楽」のカテゴリーから一つを選択 ◆紹介文・批評文 ◆批評文作成のワークシート（自作教材）	(○)	(○)	(○)	(○)	(○)	(○)	(○)	(○)	(○)	自分が紹介したい楽曲の音楽の構造上の特徴と美しさとのかわりや、音楽と他の芸術や文化とのかわりに関心をもち、批評文を書くことや鑑賞することに主体的に取り組もうとしている。		自分が紹介したい楽曲の音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特徴を理解しながら、音楽の構造上の特徴と美しさとのかわりや音楽と他の芸術や文化とのかわりを理解して、楽曲を解釈し、それらの価値を考えて音楽に対する理解を深め、主体的、創造的に聴いている。					○	○	○					○			
3 学期	2・3	高校音楽のまとめ —ファイナル・コンサートを開こう—	音楽Ⅲ及び高校3年間の音楽学習のまとめとしてコンサートを企画し、一人一人の個性や興味・関心に応じた方法で発表したり、クラス全体での合唱や合奏を楽しんだりしながら、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。	歌唱 器楽 (創作) (鑑賞)	【個別選択教材】 ○音楽Ⅲで取り扱った歌唱教材 □音楽Ⅲで取り扱った器楽教材 ◇音楽Ⅲで取り扱った創作教材 【グループ選択教材】 □Silent night, Holy night ○We will rock you 【共通教材】 ○卒業写真 ○桜の葉 ◆演奏批評のワークシート（自作教材） ◆自分のコンサートのプログラム・ノート	(○)	(○)	(○)	(○)	(○)	(○)	(○)	(○)	楽曲の表現内容や様々な表現形態による歌唱（器楽）の特徴に関心をもち、表現意図をもって創造的に歌う（演奏することや表現上の効果を生かして歌う（演奏する）ことに主体的に取り組もうとしている。	各自が選択した楽曲の音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感じながら、楽曲の表現内容や様々な表現形態による歌唱（器楽）の特徴を理解して、表現上の効果を生かした音楽表現を工夫し、どのように歌う（演奏する）か表現意図をもっている。	各自が選択した楽曲について、楽曲の表現内容や様々な表現形態による歌唱（器楽）の特徴を理解し、表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な歌唱（器楽）の技能を身に付け、創造的に表している。		○	○	○	○	○	○						○			
																			様々な演奏発表を聴いて音楽の構造上の特徴と美しさとのかわりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。		様々な演奏発表を聴いて音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感じながら、各自が演奏発表した音楽の構造上の特徴と美しさとのかわりを理解し、楽曲や演奏を解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを味わって聴いている。		○	○	○	○	○					